

石見を盛り上げよう

昨日（11月21日）『石見を盛り上げよう！4者フォーラム2019』が大田市の“あすてらす”で開催されました。今年で4回目の開催のようでしたが、大田高校・島根中央高校と本校の保護者、教職員、大田市内の企業の皆さん、そして大田市や川本町の行政機関から約60名の参加があり開催されました。県教委教育指導課地域教育推進室からも参加があり、教育機関が市町の行政機関と地元企業と保護者とで人材を育成し、地元の就職や地域の活性化にどうつなげていくかを関係者が一体となって考えていこうとする意欲や熱意のようなものを感じました。この会の主催は西部県民センター商工振興課人材確保育成コーディネーターの皆さんでしたが、今後江津・浜田・益田それぞれの会場で開催されるようです。

「魅力ある職場が 石見にある！！」というテーマで代表企業からの企業説明がまず行われました。大田会場は山興緑化有限会社から業務内容と企業理念、福利厚生などについて説明がありました。山興緑化様には本校で5月に実施した「企業とのトークセッション」でお話をいただいたり、11月5日には保護者・教職員対象の「いわみ仕事発見ツアー」で会社を見せていただいたりしていましたので、改めて、従業員を大切にしながら、中国地方で最大の処理能力があり、バイオマス燃料供給や産業廃棄物木材を堆肥化してリサイクルするなど地球環境と地域貢献に取り組む会社があるということを確認しました。その後は7～8名のグループワークです。それぞれのグループに企業、行政、保護者、教員の4者が入り、「若者を活かす地域とは～高校のキャリア教育への連携と協働～」というテーマで課題を探り、意見交換し、解決策を探し出し、全体で共有して約2時間のフォーラムが終わりました。高校がこれまで担っていた、子どもを育て、力をつけて社会に送り出すという人材育成を、高校だけでなく企業も保護者も行政も同じ方向を向いて協力して頑張りたいというメッセージを感じ取った会となりました。

昨日、進路指導部長から、「本校で就職を希望していたすべての生徒の就職先が決まりました。」と報告がありました。94名の卒業予定者のうち、54%にあたる51名が就職を希望して決定しました。そのうち86.3%の44名が県内企業に就職し、約半分の24名が大田市内への就職を決めています。さらに、保育士・看護師などの資格を取って将来は地元で働き、専門学校で技術を身につけて地域に貢献したいと進学していく生徒もたくさんいます。高校時代に学校外の様々な人と関わりを持ったり、一緒に何かをしたり、見学したりといったキャリア教育を通して、生徒たちの多くが地元を大切に考えてくれることに嬉しさを感じています。

就職しても進学しても、地元で育ててもらったことは忘れないでほしいと願っています。

